

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和4年度 第10回 監査委員定例協議会

開催日時 令和5年1月31日（火）午前9時10分～10時50分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、福地 健、大石 直樹
事務局長 萩原 健
書記 杉田 陽子
白鳥 浩司、山田 裕、渡辺 篤史
齋藤 升美、神山 悟
新海 拓也、山本 和延

会議内容

1 開会宣言 杉田次長

2 例月現金出納検査等（12月分）

冒頭、白鳥次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告があった。

その後、各会計の担当部局ごとに、それぞれの会計で実施した指定金融機関等の検査結果とそれぞれの会計における出納の状況について、説明を聴取した。

（1）説明者等

ア 各種会計 会計室次長

イ 病院事業会計 参与兼病院総務課長

ウ 簡易水道事業会計 保健衛生医療課簡易水道担当課長、保健衛生医療課市立病院・公営企業担当課長

エ 水道事業会計 経営企画課長

オ 下水道事業会計 下水道総務課長

（2）発言等

ア 各種会計

冒頭、会計室次長から、監査委員に示した指定金融機関等の検査結果に関する書類の一部に誤りがあったことについて、説明があった。

(白鳥委員)

検査調書をシステム出力したものに変更したことによってどの程度の効率化が図られたのか。

(会計室次長)

システム出力したものをそのまま検査調書の一部とすることで相当程度の負担軽減につながっているものと認識している。他の部分についても、軽減できるものがあれば、監査委員事務局とも調整していきたい。

(遠藤代表)

誤りのあった指定金融機関等の検査結果に関する書類について、月末残高は一致していたとのことであったが、月の途中の記録も確認すべきなのではないか。

(会計室次長)

そのとおりである。

(遠藤代表)

本年度の検査において、誤りが繰り返されているが、会計室の信頼がなくなることは市の会計事務全体の信用を損ねることにつながりかねない。会計管理者のリーダーシップの下で適正な事務執行に努めてほしい。また、効率的かつ的確なチェックのために必要な点を整理し、適切な確認をしてほしい。

イ 病院事業会計

冒頭、病院総務課長から、本年1月に覚知した期末・勤勉手当等に係る源泉所得税の納付遅延について、説明があった。

(白鳥委員)

今回の件で源泉所得税を取扱う事務に含まれるリスクについては認識したと思うので、今後は気を付けてほしい。

(病院総務課長)

源泉所得税の納期限を1日でも遅延すれば不納付加算税が発生することの認識が希薄だった。今回の件を受けて他都市の状況を調べたところ、同様の事例が見受けられたので、こうした情報を把握しておけばよかったと感じている。今後、二度と納付遅延が発生しないよう、事務手続を見直す。

(遠藤代表)

本件については水平展開をしていただきたい。今後の手続はどうなるのか。

(病院総務課長)

条例上、1件につき300万円を超える損害賠償の額を定める場合には議決が必要となっていることから、令和5年市議会2月定例会に提出している議案の議決後に支払手続を進めていく。

ウ 簡易水道事業会計

(遠藤代表)

決算審査でも確認した漏水量の増加について、原因箇所が不明とのことであったが、その後の進捗は。

(保健衛生医療課簡易水道担当課長)

漏水調査については、計画どおりに実施するとともに、把握された漏水箇所は速やかに修繕している。

(遠藤代表)

経営面での損失もさることながら、道路陥没などの安全面でもリスクがあるので、的確な対応をお願いしたい。

(保健衛生医療課簡易水道担当課長)

現場に行くときには、パトロールを併せて実施している。また、チラシを住民の方にお渡しし、漏水があった場合は知らせていただくように周知している。

エ 水道事業会計

(大石委員)

台風第15号に伴う断水に関連した水道料金の減額について、今回の検査対象となっている令和4年12月分の収益には影響が出ているのか。また、影響額はどの程度か。

(経営企画課長)

12月分の収益にも影響が出ている。12月分の調定額のみを見ると1億円強の減額となっているが、2箇月に1度の請求となるので、2億円を超える程度の影響を見込んでいる。

(大石委員)

この台風に伴う修繕の見通しは。

(経営企画課長)

まだこれからというところである。

(福地委員)

コロナ禍を踏まえた支払猶予の状況は。

(経営企画課長)

現在も継続しているが、支払猶予は歳入調定処理をした上で行うものであるので、検査調書に記載されている調定額にはその影響が反映されていない。

オ 下水道事業会計

(遠藤代表)

今般の原材料費の高騰などは、下水道の汚水処理経費にどのような影響を与えているのか。

(下水道総務課長)

本年度は、建設資材や電気料金の高騰を踏まえた補正予算をそれぞれ計上している。これらの高騰は、浄化センター等の維持管理、コストの上昇として影響が出てきており、来年度の予算編成もこれを踏まえて対応しているところである。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第34号 指摘事項に対する措置状況(包括外部監査)の公表内容の訂正について

(ア) 説明者

白鳥次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(2) その他連絡事項

ア 令和4年度第9回定例協議会議事録の公表について・・・・・・白鳥次長補佐が説明

イ 2・3月の日程について・・・・・・・・・・・・・・・・杉田次長が説明

4 閉会宣言 杉田次長